

## プロポーザル方式における特定結果書

- |                       |                                 |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1 業務名                 | 徳島小松島港における生物共生を考慮した浚渫土砂活用技術検討業務 |
| 2 所属事務所               | 小松島港湾・空港整備事務所                   |
| 3 方式                  | 簡易公募型プロポーザル方式                   |
| 4 技術提案書の提出要請日または選定通知日 | 令和7年10月9日                       |
| 5 公示日                 | 令和7年9月19日                       |
| 6 特定通知日               | 令和7年11月21日                      |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
徳島小松島港における生物共生を 考慮した浚渫土砂活用技術検討業務 みなと総研・三洋テクノマリン設計共同体	○	

## プロポーザル評価表

1. 件名 徳島小松島港における生物共生を考慮した浚渫土砂活用技術検討業務
2. 所属事務所 小松島港湾・空港整備事務所
3. 技術提案書の特定通知日 令和7年11月21日

業 者 名	技術評価点の内訳				技術評価点 合計	備考
	配置予定技術者の 資格及び実績等	配置予定技術者の 成績及び表彰	特定テーマ			
			特定テーマ1	特定テーマ2		
評価のウェイト	20	30	170		220	
徳島小松島港における生物共生を考慮した浚渫土砂活用 技術検討業務 みなと総研・三洋テクノマリン設計共同体	18	23	123		164	特定

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- 1 業務名

2 所属事務所

3 方式

4 公示日

5 選定通知日
- 徳島小松島港における生物共生を考慮した浚渫土砂活用技術検討業務  
小松島港湾・空港整備事務所  
簡易公募型プロポーザル方式  
令和7年9月19日  
令和7年10月9日

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
徳島小松島港における生物共生を 考慮した浚渫土砂活用技術検討業務 みなと総研・三洋テクノマリン設計共同体	○	

**【令和7年度 簡易公募型プロポーザル方式業者選定資料】**

件名	徳島小松島港における生物共生を考慮した浚渫土砂活用技術検討業務			ランク：建設コンサルタント等 A等級	技術者の資格：・技術士(総合技術監理部門(建設)又は建設部門) ・博士(業務に該当する分野) ・APECエンジニア(業務に該当する分野) ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者 ・海洋・港湾構造物設計士 ・RCCM(港湾及び空港部門)又は同等の能力を有する者(技術士部門と同様の部門に限る。)。但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者 ・発注者が上記と同等であると認めた者
業務概要・数量	本業務は徳島小松島港にて、港湾整備事業等を行う際の海洋生物との共生を考慮した港湾整備手法の検討を行うものである。 ・計画準備 1式 ・協議・報告 1式 ・生物共生型港湾整備手法の検討 1式 ・検討会の開催 1式 ・環境生物調査等 1式 ・業務完成図書 1式			契約形態：簡易公募型プロポーザル方式  企業の同種業務実績：以下の①及び②を実施した業務(①、②は別件業務可) ① <u>海域における浚渫土砂の有効活用について検討を行った業務</u> ② <u>海域における藻場造成について検討を行った業務</u>  企業の類似業務実績：設定しない	
		業務区分	業務の等級	技術者の同種業務実績：海域における藻場造成について検討を行った業務 技術者の類似業務実績：設定しない	
		建設コンサルタント等	A		
技術提案書のヒアリング実施日	見積予定日	履行期間	単体設計共同体		
令和7年11月11日	令和7年12月5日	令和8年10月30日			
特定テーマ：本業務において、生物共生型港湾整備に向けた地域連携方策を検討する上での課題、着眼点及び解決方法について					

[illegible]